

今後の進め方(案)

今後の進め方(案)

前回

第5回 検討委員会



ロゴマークの投票



本日

第6回 検討委員会 (最終)

2年間の試行結果を踏まえ、とりまとめ

- 受入環境の充実方策
休憩施設の充実、移動のサポート、イベント・モニターツアー、ルート案内・周知
- 自転車走行環境の改善方策
統一的なルート案内、路面表示(矢羽根)による安全対策
- 情報提供・サイクリストとのコミュニケーション方策
コミュニケーションサイト
- 持続的取組を進めるための体制・役割分担
ルート体制の構築、全道連携、ブランド力の向上(ロゴマーク)、持続性の確保

モデルルートにおける試行(H29～H30年度)

H31(2019)
年度～

提言に基づいて、世界水準のサイクリング環境構築に向けて本格的な取組を開始

○地域の活動団体等からの申請に基づき、審査を行い、要件を満たした基幹ルート(北海道推奨ルート(仮称))で取組を実施

※ 有識者委員会による審議を経た上で、関係機関による協議会により審査を行うことを想定

○ルートにおいては、地域や道路管理者等が連携し、受入環境の充実や走行環境の改善、情報発信等の取組を実施